

「墓地に関する市民アンケート調査」
結果報告書

平成28年3月

【目 次】

1	調査目的	1
2	調査方法	1
3	調査結果	2
3-1	単純集計	2
3-2	クロス集計	12
3-3	自由記入の内容	18
4	墓地需要予測	24
4-1	大阪府方式による推計	24
4-2	簡易予測式による推計	25
4-3	地域別・形態別の墓地需要数	26
5	市営墓地の供給について	28
(参考)	アンケート調査票	31

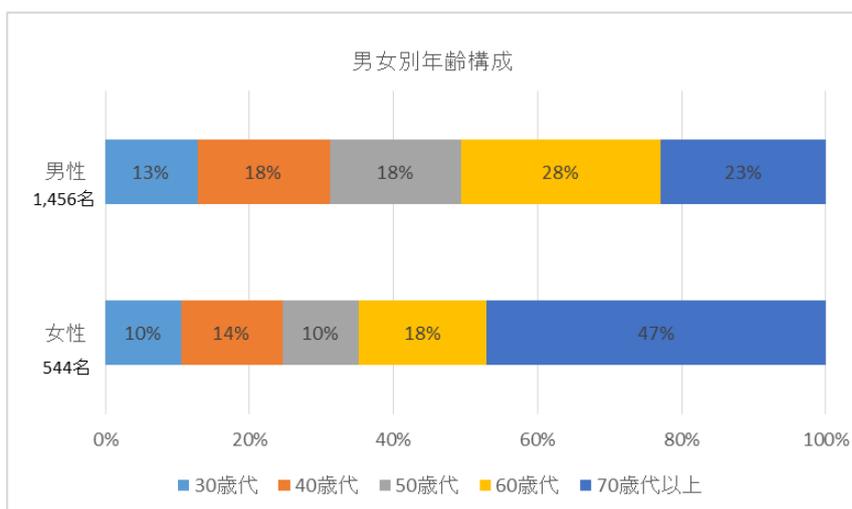
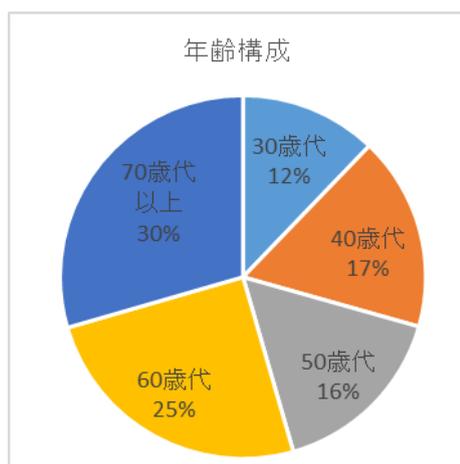
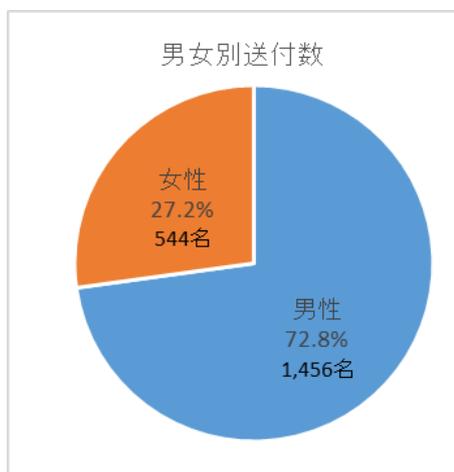
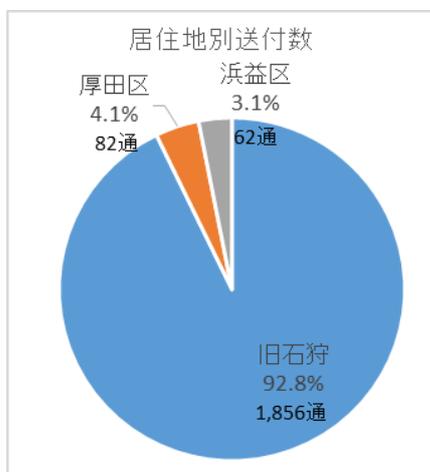
1 調査目的

石狩市民の墓地の所有状況や取得希望のほか、合葬墓に関する考え方などについて調査し、墓地需要推計や今後の市営墓地のあり方を検討する上での基礎資料とするため。

2 調査方法

- (1) 調査対象 市内在住で満30歳以上の世帯主2,000名
- (2) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (3) 調査方法 アンケート調査票を郵送し、同封した返信用封筒により郵送回収
- (4) 調査期間 平成27年11月4日～11月20日（17日間）
- (5) 回収数 790件（回収率40%）

※ 送付数の居住地別等内訳



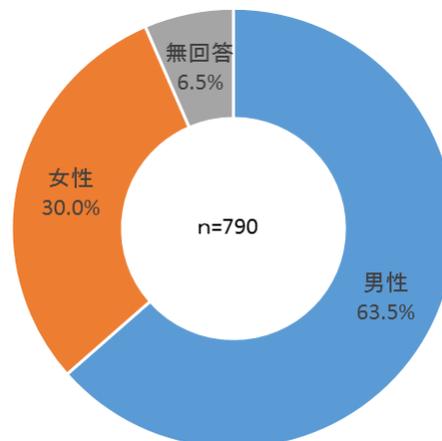
3 調査結果

3-1 単純集計（設問毎の回答数及び構成比）

問1 あなたご自身のことについておたずねします。

(1) 性別

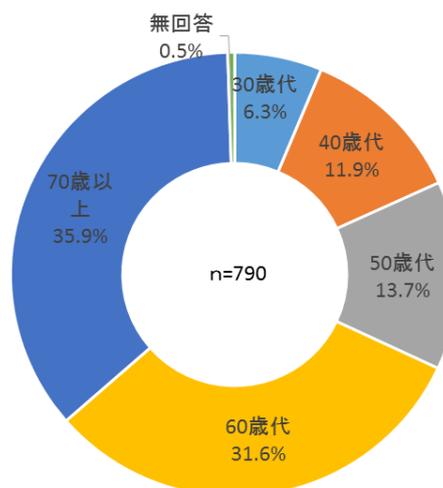
回答	回答数	構成比
男性	502	63.5%
女性	237	30.0%
無回答	51	6.5%
計(n)	790	100.0%



- ・ 回答者の性別は、「男性」が63.5%、「女性」が30.0%であった。

(2) 年齢

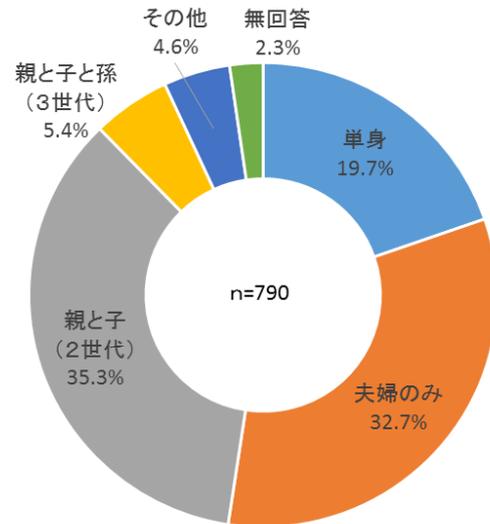
回答	回答数	構成比
30歳代	50	6.3%
40歳代	94	11.9%
50歳代	108	13.7%
60歳代	250	31.6%
70歳以上	284	35.9%
無回答	4	0.5%
計(n)	790	100.0%



- ・ 回答者の年齢は、「70歳以上」が最も多く（35.9%）、「60歳代」（31.6%）、「50歳代」（13.7%）と続く。
- ・ 調査対象者（送付者）の構成比と比較すると概ね比例関係にあるが、年代が高くなるほど回答率が高い傾向にある。

(3) 世帯構成

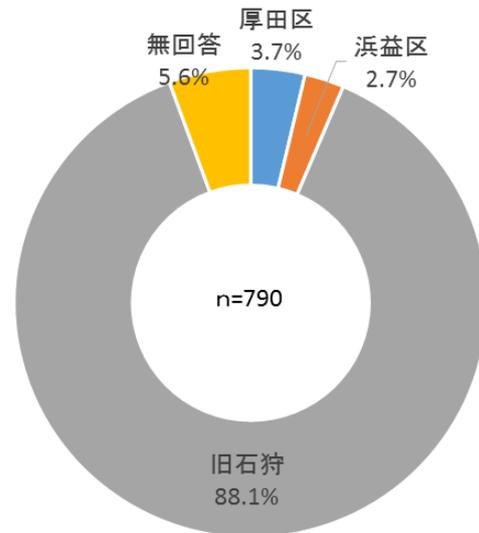
回答	回答数	構成比
単身	156	19.7%
夫婦のみ	258	32.7%
親と子(2世代)	279	35.3%
親と子と孫(3世代)	43	5.4%
その他	36	4.6%
無回答	18	2.3%
計(n)	790	100.0%



- ・「親と子(2世代)」が最も多く(35.3%)、「夫婦のみ」(32.7%)、「単身」(19.7%)と続いた。

(4) 現在のご住所

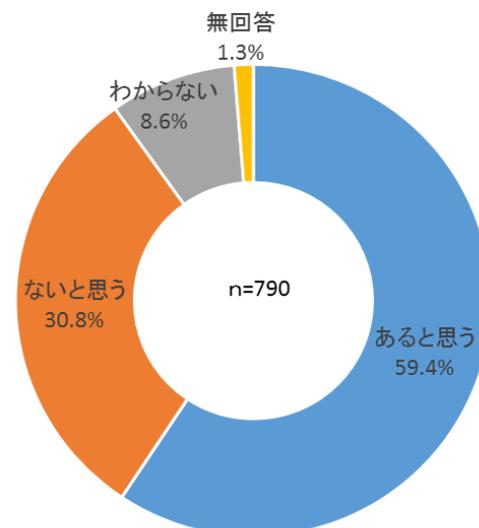
回答	回答数	構成比
厚田区	29	3.7%
浜益区	21	2.7%
旧石狩	696	88.1%
無回答	44	5.6%
計(n)	790	100.0%



- ・調査対象者(送付者)の居住地構成比と概ね一致した結果となった。

(5) 先祖のお墓を守る立場にありますか

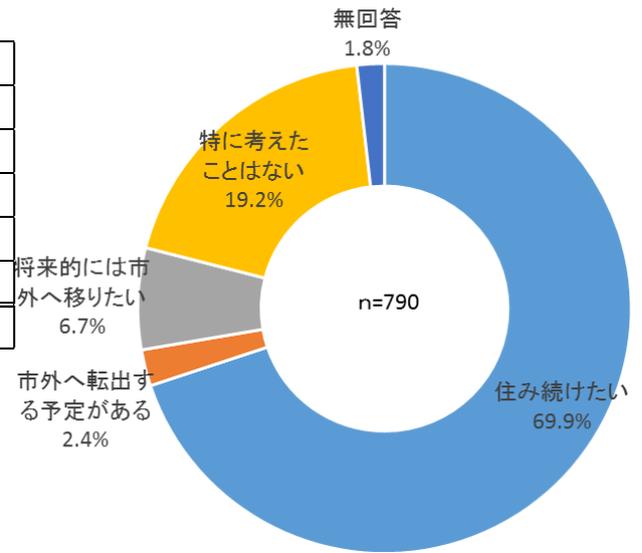
回答	回答数	構成比
あると思う	469	59.4%
ないと思う	243	30.8%
わからない	68	8.6%
無回答	10	1.3%
計(n)	790	100.0%



- ・「あると思う」の回答は59.4%、「ないと思う」の回答は30.8%であった。

(6) 今後の市内居住について

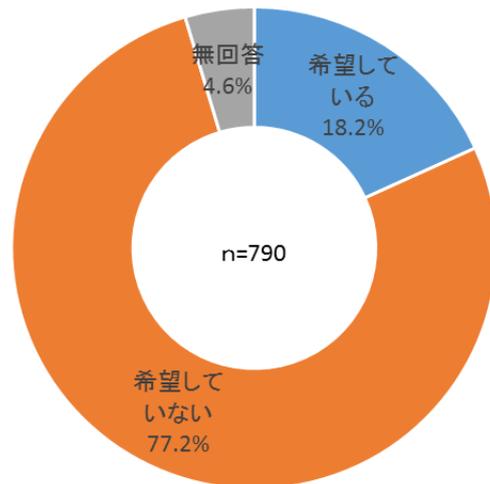
回答	回答数	構成比
住み続けたい	552	69.9%
市外へ転出する予定がある	19	2.4%
将来的には市外へ移りたい	53	6.7%
特に考えたことはない	152	19.2%
無回答	14	1.8%
計(n)	790	100.0%



- ・「住み続けたい」との回答は約7割（69.9%）。
次いで「特に考えたことはない」（19.2%）。
- ・「市外へ転出する予定がある」（2.4%）と
「将来的には市外へ移りたい」（6.7%）を合わせると9.1%。

問2 あなたは、墓地の取得を希望していますか。

回答	回答数	構成比
希望している	144	18.2%
希望していない	610	77.2%
無回答	36	4.6%
計(n)	790	100.0%



- ・墓地の取得希望は、「希望している」が18.2%となった。

問3 問2で、墓地の取得を「希望している」とお答えの方におたずねします。

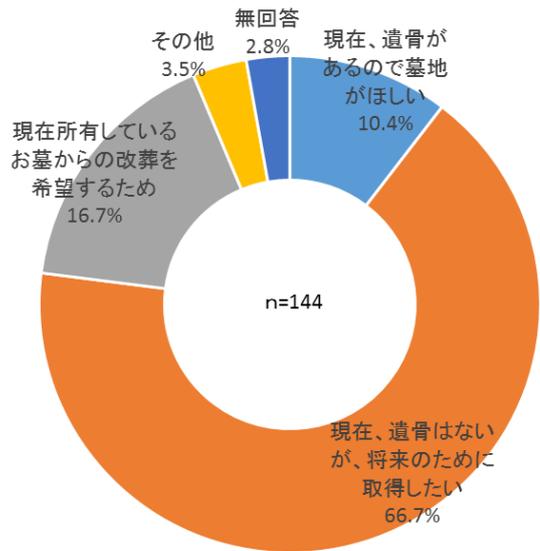
(1) 墓地の取得を希望している理由は次のどれですか。(主なものを1つ)

回答	回答数	構成比
現在、遺骨があるので墓地がほしい	15	10.4%
現在、遺骨はないが、将来のために取得したい	96	66.7%
現在所有しているお墓からの改葬を希望するため	24	16.7%
その他	5	3.5%
無回答	4	2.8%
計(n)	144	100.0%

- ・取得希望の理由は、「現在、遺骨はないが、将来のために取得したい」が最も多く(66.7%)、「改葬希望」を理由とするものが続いた(16.7%)。
- ・「現在、遺骨がある」ことを理由にするものが約1割(10.4%)あった。

「その他」の主な回答

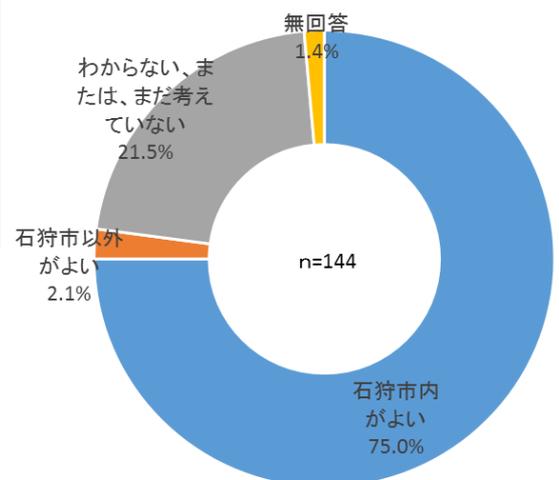
- ・後々に墓守りがいないので合葬墓を希望する
- ・現在の墓地の相続のため



(2) あなたは墓地をどの地域に取得したいとお考えですか。(主なものを1つ)

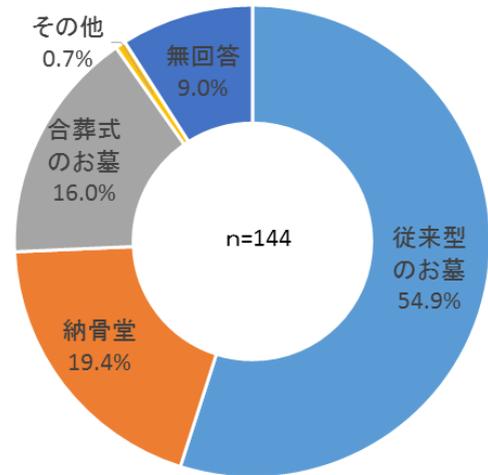
回答	回答数	構成比
石狩市内がよい	108	75.0%
石狩市以外がよい	3	2.1%
わからない、または、まだ考えていない	31	21.5%
無回答	2	1.4%
計(n)	144	100.0%

- ・「石狩市内がよい」が75.0%と最も多く、次いで「わからない、または、まだ考えていない」が多く21.5%となった。



(3) どのような形態を希望しますか。(主なものを1つ)

回答	回答数	構成比
従来型のお墓	79	54.9%
納骨堂	28	19.4%
合葬式のお墓	23	16.0%
その他	1	0.7%
無回答	13	9.0%
計(n)	144	100.0%



- ・「従来型のお墓」を希望する回答が最も多く (54.9%)、「納骨堂」(19.4%)、「合葬式のお墓」(16.0%) と続いた。

「その他」の回答：散骨

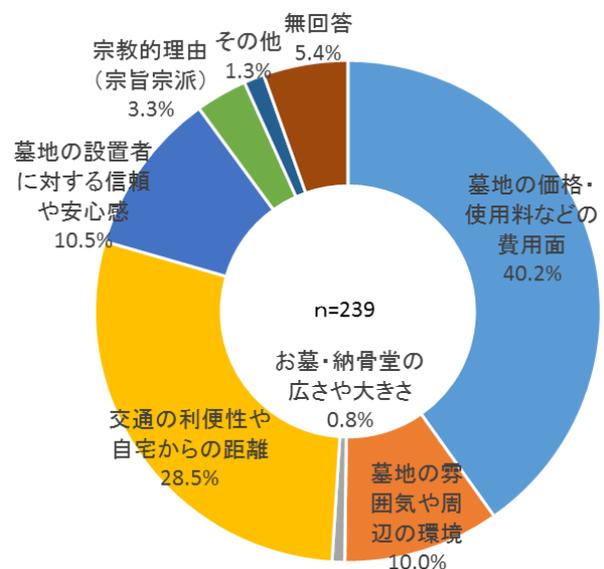
(4) 取得する際に特に重視する点は何ですか。(主なもの2つまで)

回答	回答数	構成比
墓地の価格・使用料などの費用面	96	40.2%
墓地の雰囲気や周辺の環境	24	10.0%
お墓・納骨堂の広さや大きさ	2	0.8%
交通の利便性や自宅からの距離	68	28.5%
墓地の設置者に対する信頼や安心感	25	10.5%
宗教的理由(宗旨宗派)	8	3.3%
その他	3	1.3%
無回答	13	5.4%
計(n)	239	100.0%

- ・「費用面」を重視するとの回答が最も多く (40.2%)、次いで「交通の利便性や自宅からの距離」(28.5%) となった。

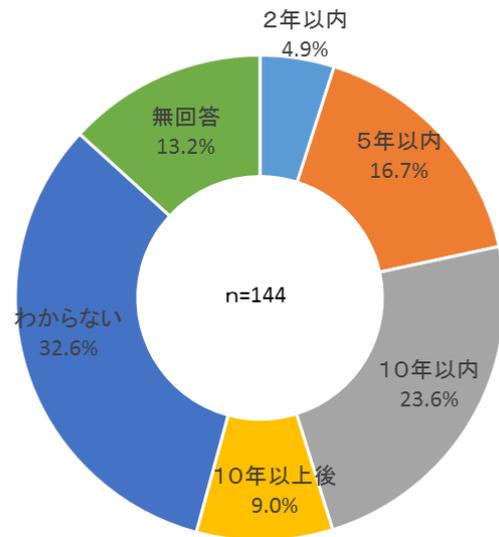
「その他」の主な回答

- ・天と地の方向性
- ・特に考えていない



(5) あなたは墓地をいつごろ取得したいと考えていますか。

回答	回答数	構成比
2年以内	7	4.9%
5年以内	24	16.7%
10年以内	34	23.6%
10年以上後	13	9.0%
わからない	47	32.6%
無回答	19	13.2%
計(n)	144	100.0%

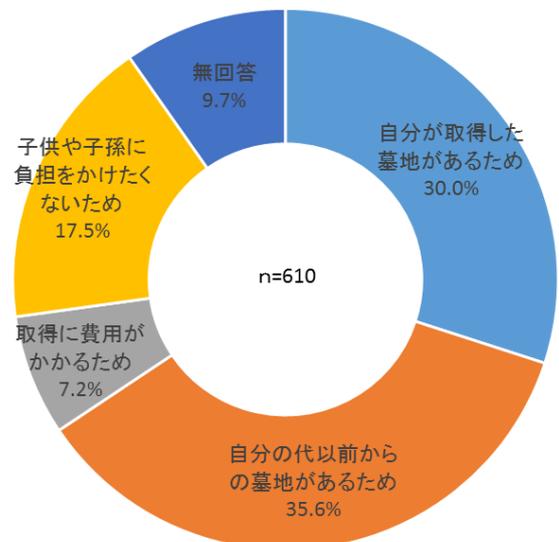


- ・「わからない」(32.6%) が最も多かったが、具体的な年数では、「10年以内」(23.6%) が最も多く、「5年以内」(16.7%) が続いた。

問4 問2で、墓地の取得を「希望していない」とお答えの方におたずねします。

(1) 希望しない理由をお聞かせください。(主なものを1つ)

回答	回答数	構成比
自分が取得した墓地があるため	183	30.0%
自分の代以前からの墓地があるため	217	35.6%
取得に費用がかかるため	44	7.2%
子供や子孫に負担をかけたくないため	107	17.5%
無回答	59	9.7%
計(n)	610	100.0%

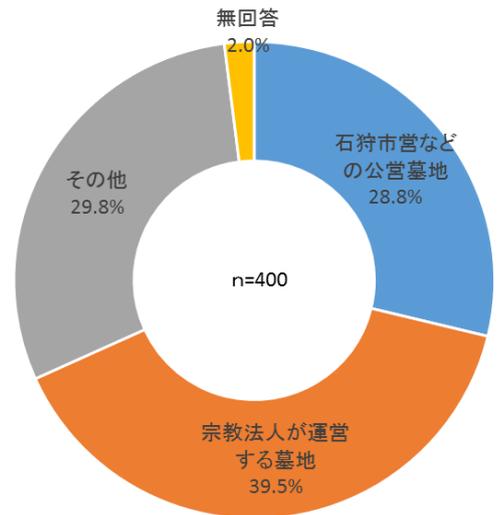


- ・「自分の代以前からの墓地があるため」(35.6%) が最も多く、「自分が取得した墓地があるため」(30.0%) と合わせると、墓地取得済みを理由とするものは65.6%となる。
- ・「子供や子孫に負担をかけたくないため」(17.5%) がそれに続く。

(2) 墓地をお持ちの方および利用できる墓地のある方におたずねします。

(i) あなたの墓地は次のどれですか。

回答	回答数	構成比
石狩市営などの公営墓地	115	28.8%
宗教法人が運営する墓地	158	39.5%
その他	119	29.8%
無回答	8	2.0%
計(n)	400	100.0%



- ・「宗教法人が運営する墓地」(39.5%)が最も多かった。
- ・「石狩市営などの公営墓地」は28.8%であった。

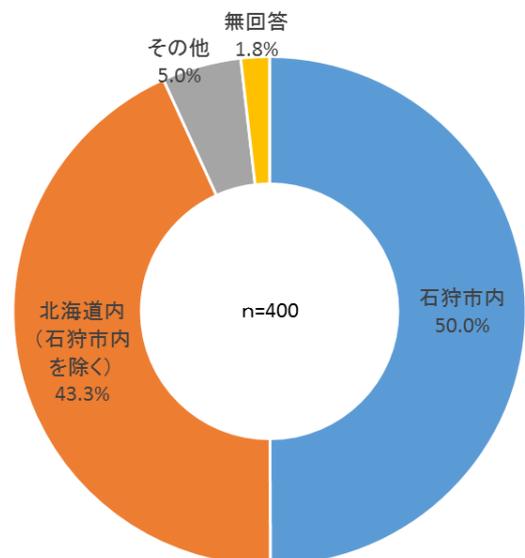
「その他」の主な回答

- ・公益社団法人 ・札幌市営 ・他市の公営墓地
- ・寺院の墓地、納骨堂

※「その他」の回答の中には、「石狩市営などの公営墓地」又は「宗教法人が運営する墓地」に分類されるものもあると思われるが、回答者が「その他」で回答しているものは、そのまま集計している。

(ii) あなたの墓地はどの地域にありますか。

回答	回答数	構成比
石狩市内	200	50.0%
北海道内(石狩市内を除く)	173	43.3%
その他	20	5.0%
無回答	7	1.8%
計(n)	400	100.0%



- ・「石狩市内」と回答したのは、半数(50.0%)であった。

「その他」の主な回答

- ・道外 ・修道院内

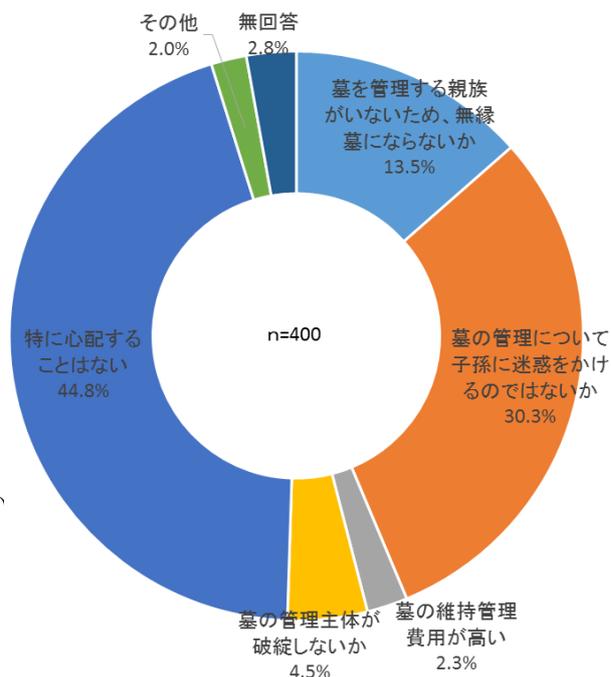
(iii) 将来も含め墓地の心配ごとは何ですか。(主なもの1つ)

回答	回答数	構成比
墓を管理する親族がいないため、無縁墓にならないか	54	13.5%
墓の管理について子孫に迷惑をかけるのではないか	121	30.3%
墓の維持管理費用が高い	9	2.3%
墓の管理主体が破綻しないか	18	4.5%
特に心配することはない	179	44.8%
その他	8	2.0%
無回答	11	2.8%
計(n)	400	100.0%

- ・「特に心配することはない」(44.8%)
が最も多かった。
- ・心配ごとで最も多かったのは、「墓の管理について子孫に迷惑をかけるのではないか」(30.3%)、次いで「墓を管理する親族がいないため、無縁墓にならないか」(13.5%)であった。

「その他」の主な回答

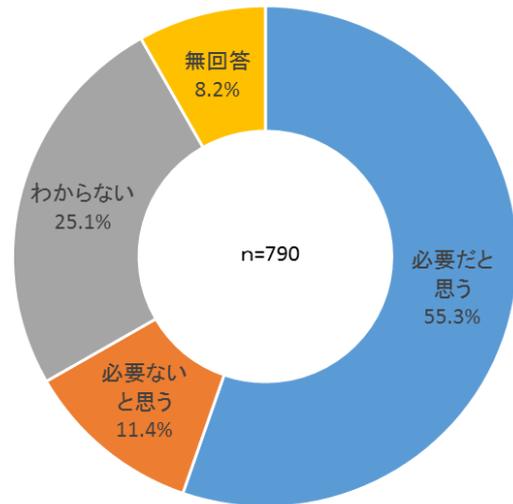
- ・墓地が遠い場所にあり、めったに行けない
- ・兄弟が本州にいること
- ・結婚したらどうなるか不明
- ・まだ考えたことがない



問5 合葬式のお墓についておたずねします。

(1) あなたは、合葬式のお墓が必要だとお考えですか。(主なものを1つ)

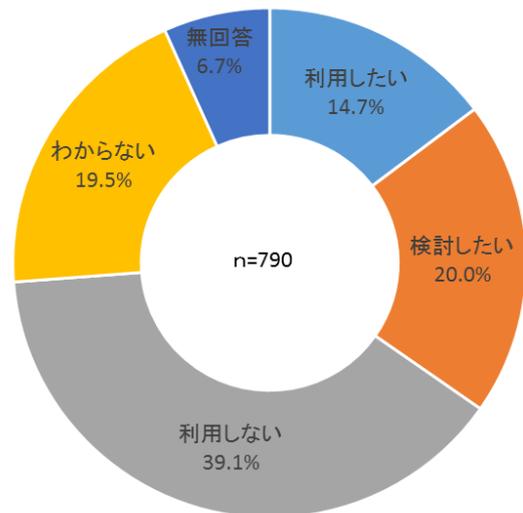
回答	回答数	構成比
必要だと思う	437	55.3%
必要ないと思う	90	11.4%
わからない	198	25.1%
無回答	65	8.2%
計(n)	790	100.0%



- ・「必要だと思う」との回答が最も多く 55.3%、次いで「わからない」(25.1%)が多かった。
- ・「必要ないと思う」は、11.4%であった。

(2) 今後、市が合葬式のお墓を設置した場合、利用したいですか。(主なものを1つ)

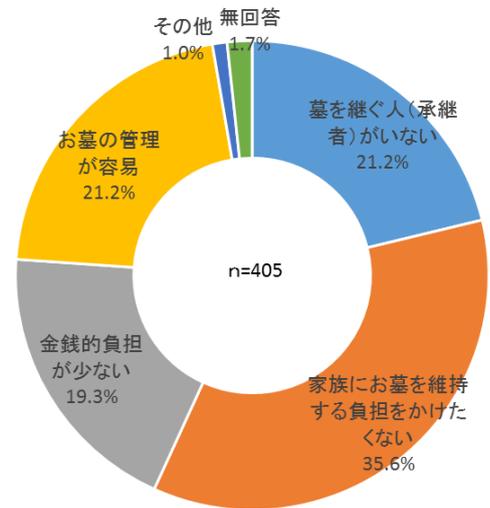
回答	回答数	構成比
利用したい	116	14.7%
検討したい	158	20.0%
利用しない	309	39.1%
わからない	154	19.5%
無回答	53	6.7%
計(n)	790	100.0%



- ・「利用したい」は、14.7%であり、「検討したい」(20.0%)と合わせると 34.7%。
- ・「利用しない」は、39.1%であった。

(3) 設問(2)で「利用したい」または「検討したい」と回答した理由を教えてください。(主なものを2つまで)

回答	回答数	構成比
墓を継ぐ人(承継者)がいない	86	21.2%
家族にお墓を維持する負担をかけたくない	144	35.6%
金銭的負担が少ない	78	19.3%
お墓の管理が容易	86	21.2%
その他	4	1.0%
無回答	7	1.7%
計(n)	405	100.0%



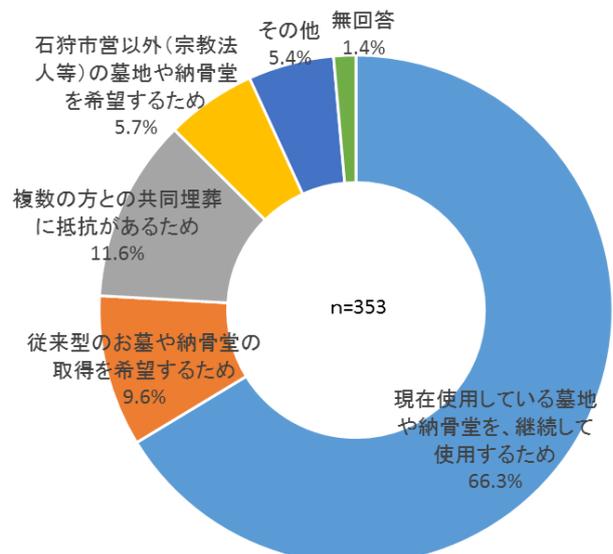
・「家族に負担をかけたくない」(35.6%)が最も多く、「墓を継ぐ人がいない」と「管理が容易」が同率で続いた(21.2%)。

「その他」の主な回答

- ・子供が遠方にいるので
- ・娘しかいないので将来がわからない

(4) 設問(2)で「利用しない」と回答した理由を教えてください。(主なものを2つまで)

回答	回答数	構成比
現在使用している墓地や納骨堂を、継続して使用するため	234	66.3%
従来型のお墓や納骨堂の取得を希望するため	34	9.6%
複数の方との共同埋葬に抵抗があるため	41	11.6%
石狩市営以外(宗教法人等)の墓地や納骨堂を希望するため	20	5.7%
その他	19	5.4%
無回答	5	1.4%
計(n)	353	100.0%



・「使用中の墓地や納骨堂を、継続使用するため」が66.3%と最も多かった。
 ・「共同埋葬に抵抗があるため」(11.6%)、「従来型のお墓や納骨堂を希望するため」(9.6%)がそれに続いた。

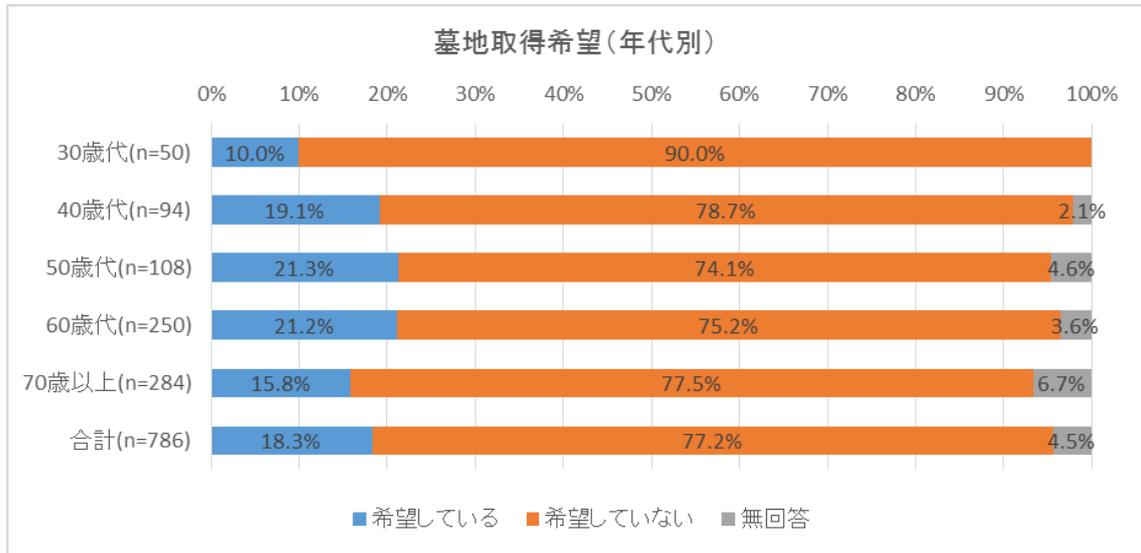
「その他」の主な回答

- ・まだ真剣に考えていない
- ・市外へ転出する予定があるため
- ・散骨を検討中であるため
- ・親戚のお寺の納骨堂を使用するため

3-2 クロス集計（墓地取得希望数などを、主に年代別に集計）

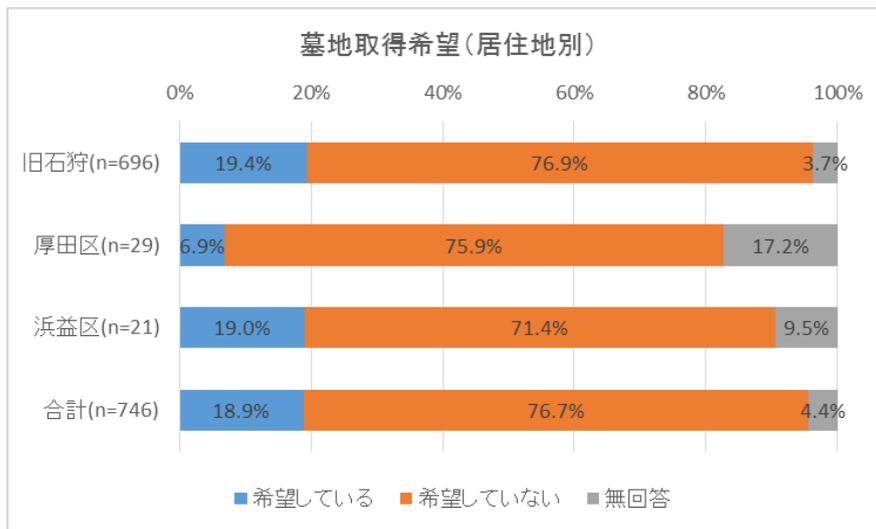
(1) 墓地取得希望

① 年代別



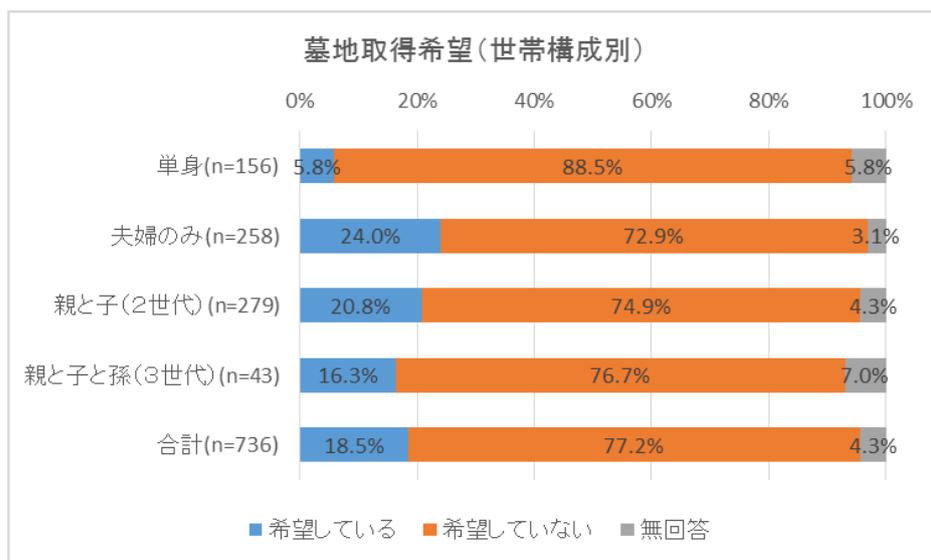
・墓地の取得希望（率）について、年代別では、50歳代までは年代が高くなるに従い増加し、50歳代で最も高く21.3%、次いで60歳代が21.2%であった。

② 居住地別



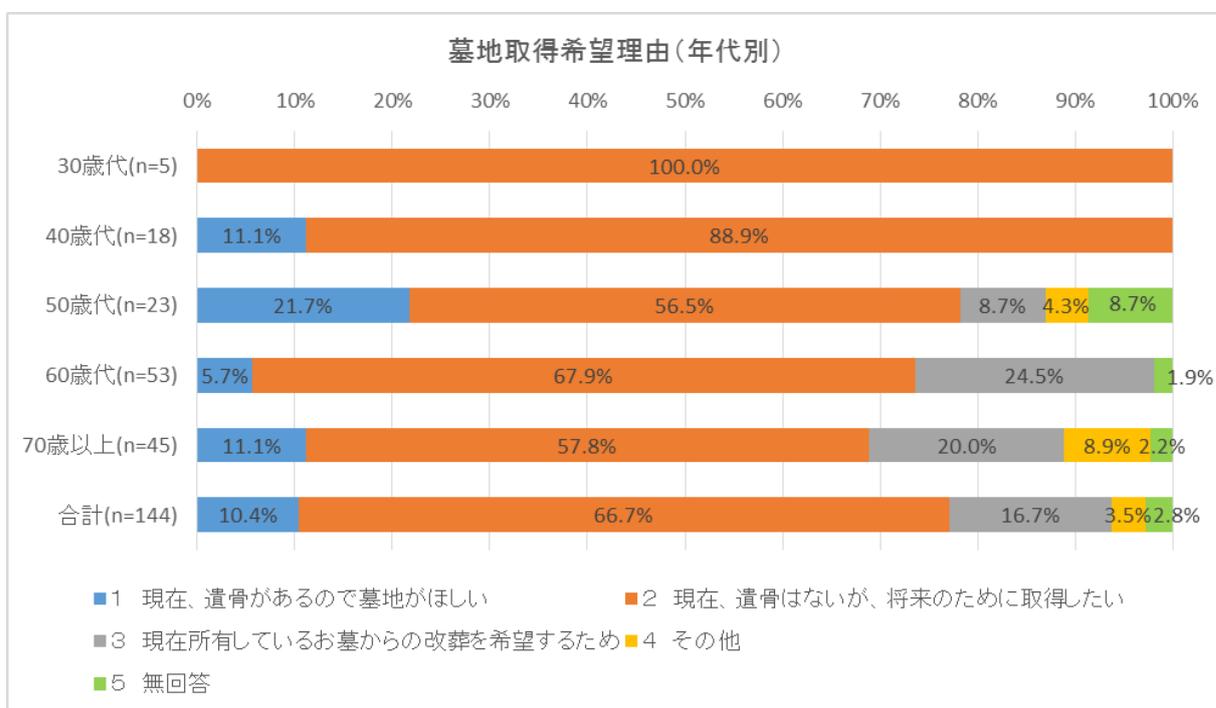
・厚田区の「希望している」の率が低い「無回答」も多く、居住地で明確な傾向は見られなかった。

③ 世帯構成別



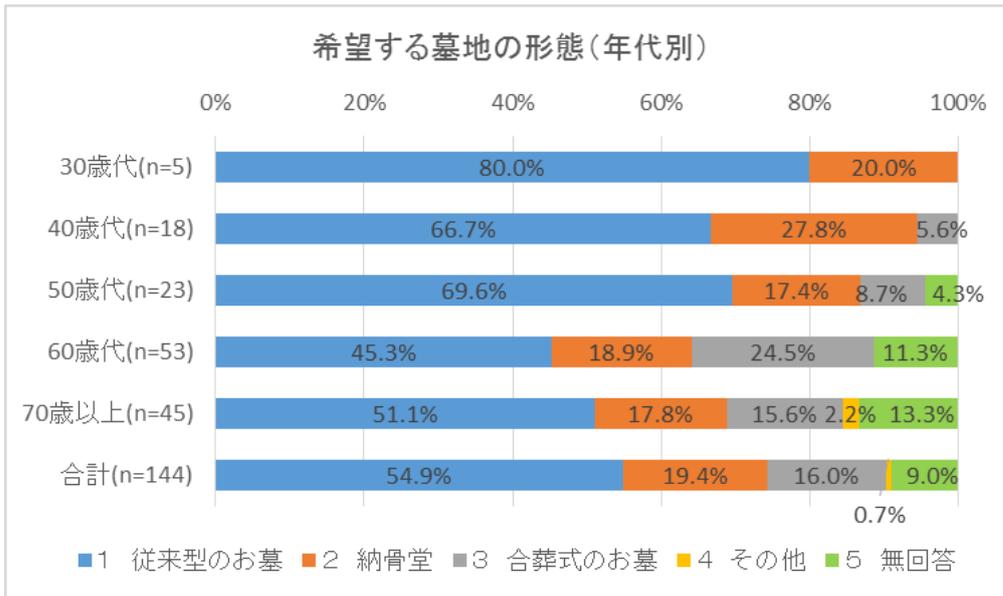
- ・「希望している」の回答(率)は、「夫婦のみ」の世帯が最も高く(24.0%)、「親と子(2世代)」(20.8%)、「親と子と孫(3世代)」(16.3%)と、同居世代が増えるに従い減少する結果となった。
- ・最も低かったのは「単身」世帯で、5.8%であった。

(2) 墓地取得希望理由(年代別)



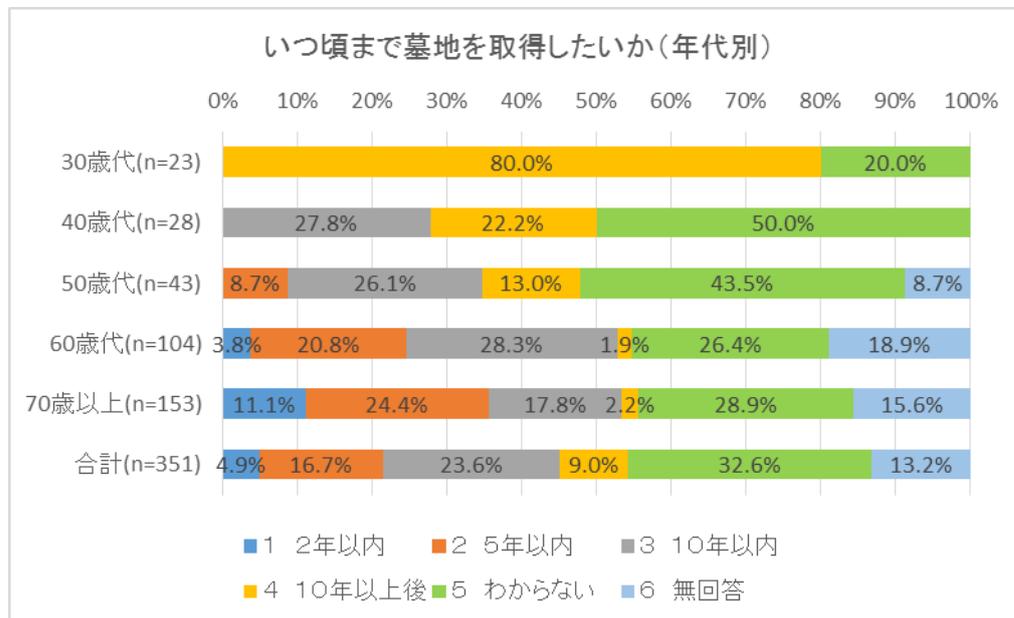
- ・「遺骨があるので墓地がほしい」としたのは、30歳代では0%であった。40歳代以降はいずれの年代も一定数の回答があり、50歳代が最も高かった(21.7%)。
- ・50歳代以降は、「現在所有しているお墓からの改葬」が理由に挙がり、60歳代、70歳代では「遺骨はないが、将来のために取得したい」に次ぐ上位の回答率であった。年代が高くなるに従い、交通の利便性や管理の容易さを求めての改葬希望が多くなるためと考えられる。

(3) 希望する墓地の形態（年代別）



- ・「従来型のお墓」は、年代が高くなるに従い減少する傾向にある一方、「合葬式のお墓」は年代の高まりとともに増加傾向にあり、30歳代では0%であるが、60歳代で24.5%と最大になる。

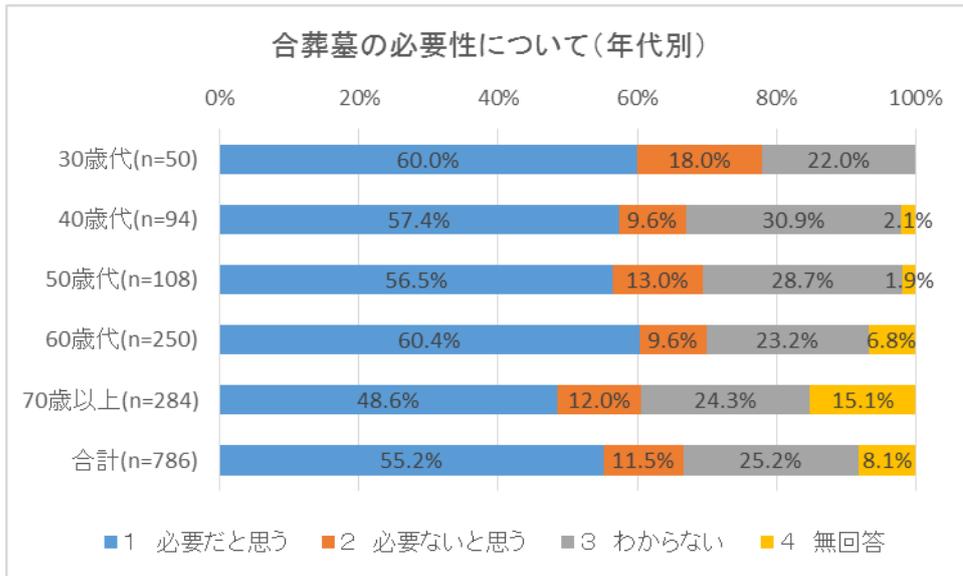
(4) いつ頃まで墓地を取得したいか（年代別）



- ・「わからない」を除くと、30歳代では「10年以上後」のみ。また、40歳代では「10年以内」と「10年以上後」のみ。
- ・50歳代で初めて「5年以内」の回答が、60歳代で初めて「2年以内」の回答があり、いずれも年代が高くなるに従い増加している。

(5) 合葬墓の必要性について

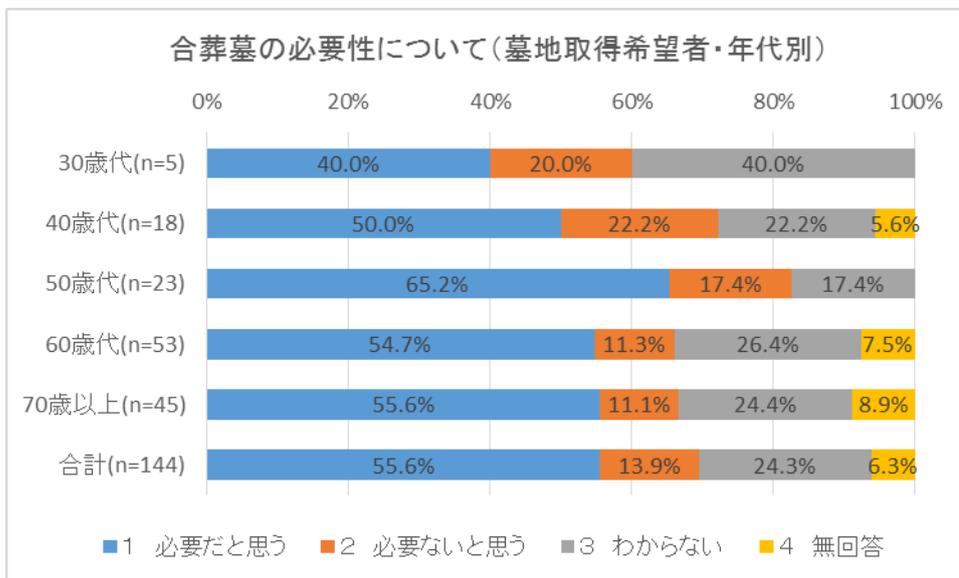
① 年代別



- ・合葬墓の必要性については、30歳代で「必要だと思う」が60.0%と比較的高かった一方、「必要ないと思う」との回答も18.0%と年代別では最も高かった。
- ・40歳代以降は、年代間で顕著な傾向は見られなかった。

② 墓地取得希望者・年代別

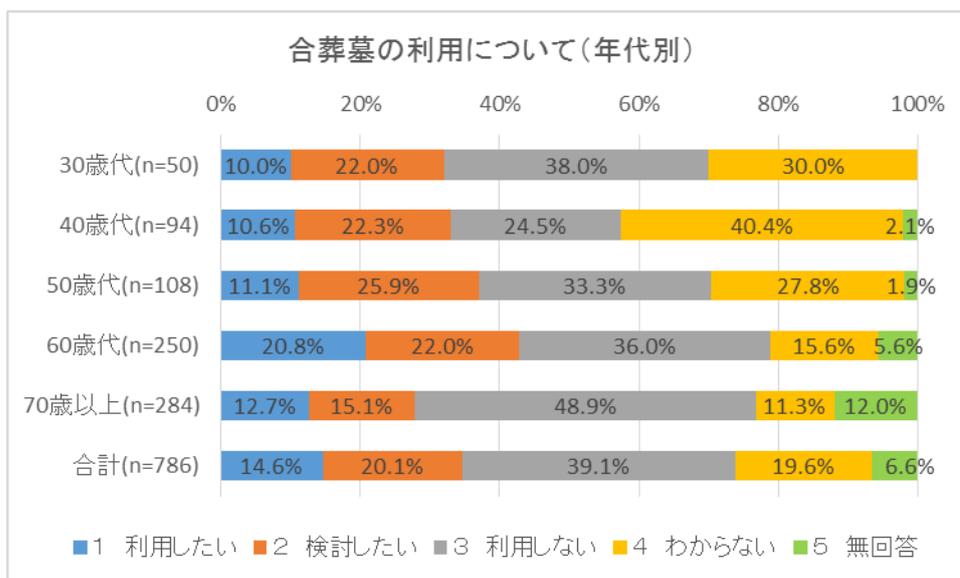
(問2「あなたは、墓地の取得を希望していますか。」で、「希望している」と回答した人によって年代別に集計)



- ・墓地取得希望の有無で大きな違いは見られず、全体としては、過半数が合葬墓の必要性を認識している結果となった。

(6) 合葬墓の利用について

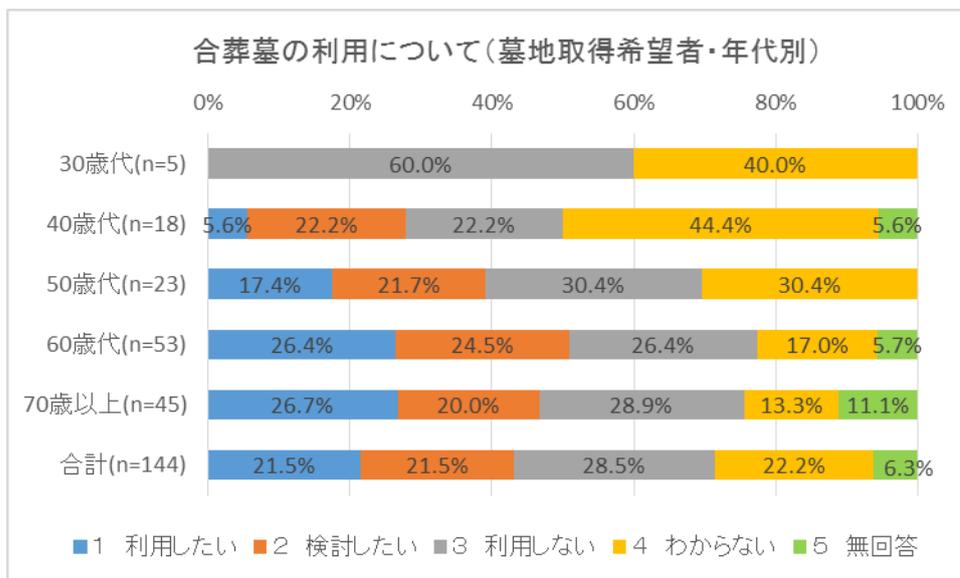
① 年代別



- ・「利用したい」は、60歳代までは年代が高くなるに従い増加し、最大で20.8%になる。また、「利用したい」と「検討したい」の合計も60歳代で最大42.8%となる。
- ・70歳代で「利用したい」が減少し、「利用しない」が増加するのは、墓地の取得希望自体が少ない（取得済み等のため）ことを反映したものと考えられる。

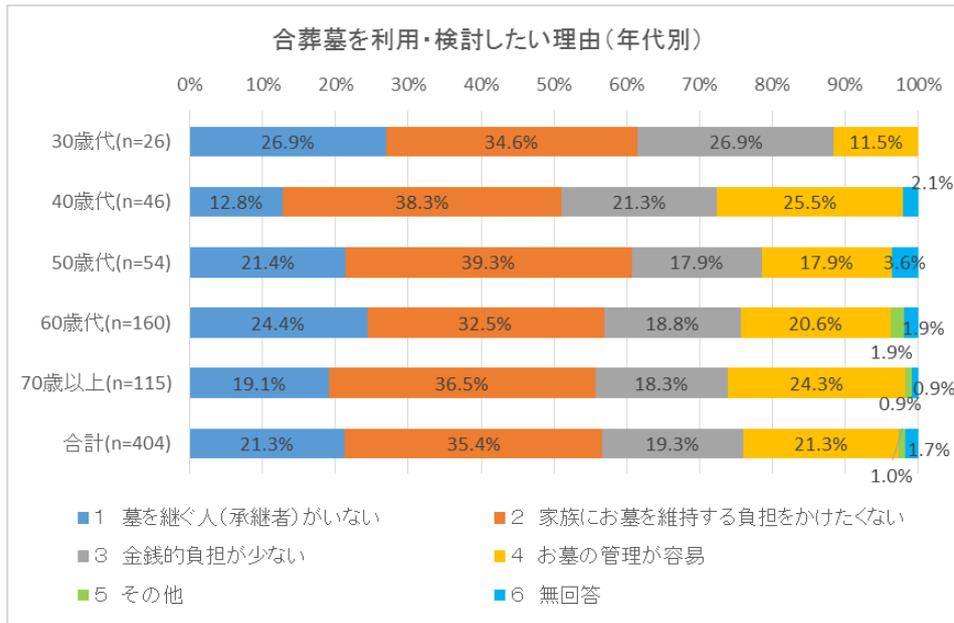
② 墓地取得希望者・年代別

(問2「あなたは、墓地の取得を希望していますか。」で、「希望している」と回答した人によって年代別に集計)



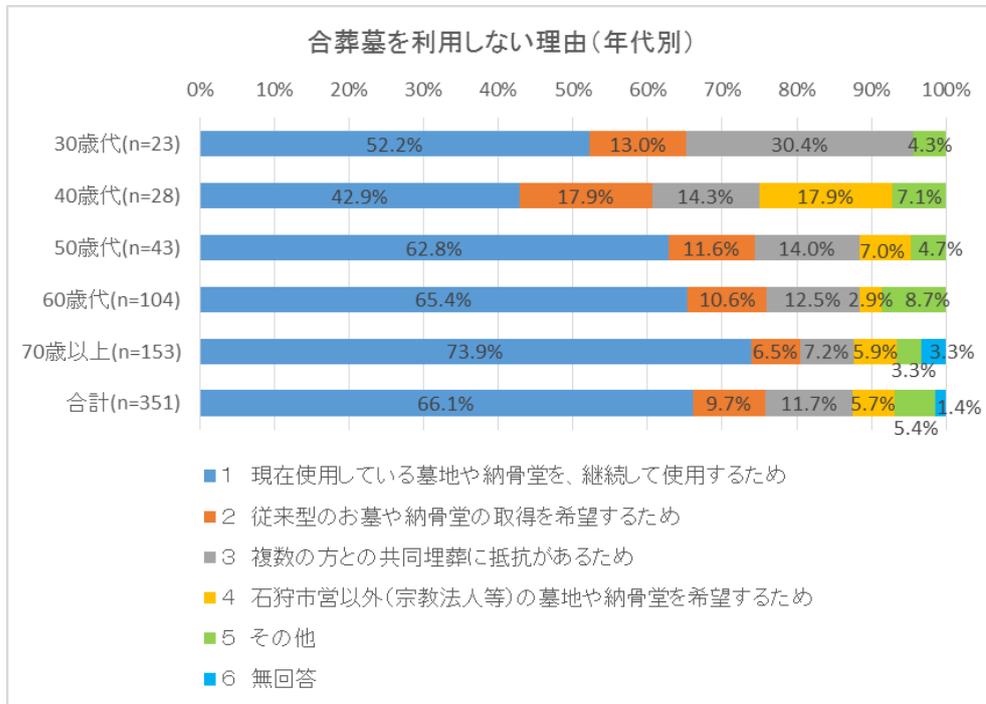
- ・①と同様に、「利用したい」は年代が高くなるに従い増加する傾向にあるが、70歳代でも減少せずに最大26.7%となる。
- ・「利用したい」と「検討したい」の合計は60歳代で最大50.9%となるほか、全体としても①に比べ「利用したい」、「検討したい」の回答率が大きく、現に墓地取得を希望する人は、合葬墓への関心が高いと考えられる。

(7) 合葬墓を利用・検討したい理由（年代別）



- ・30歳代で「墓を継ぐ人（承継者）がない」の率が最も高い（26.9%）が、世帯構成として「単身」あるいは「夫婦のみ」の比率が高いためと考えられる。
- ・各世代に共通して、「家族にお墓を維持する負担をかけたくない」が最も多い。
- ・その他、年代間で顕著な傾向は見られなかった。

(8) 合葬墓を利用しない理由（年代別）



- ・「現在使用している墓地や納骨堂を、継続して使用するため」は、年代が高くなるに従い増加する傾向にある。
- ・「共同埋葬に抵抗があるため」は、30歳代で最も高く（30.4%）、年代が高くなるに従い共同埋葬への抵抗が低くなる結果となった。

3-3 自由記入の内容

196 件の意見等があった。内容により「墓地のあり方に関する意見等」、「石狩市営の墓地に関する意見等」、「その他」に区分し記載した。

(1) 墓地のあり方に関する意見等

(合葬式のお墓が必要)

- ・人口減少に伴い、個人が墓を持ち子孫に管理させるのは困難な時代であり、既存の墓や新設される墓の管理は難しくなる。私は、市営の合葬墓が造られたら利用させていただきたい。
また、合葬墓を造る際は「合葬墓検討委員会」を設置し、市民の意見を取り入れた施設として欲しい。
- ・札幌市や北広島市にもあるので石狩市も必要だと思う。
- ・市が行うので安心感があるので、単独の墓地の外に合葬式を設け公園式の墓地がよい。
- ・私は墓を持っているが、子孫のいない方、高額で購入が難しい方もいるので合葬式のものがあったても良いのではないかと思う。
- ・市営の合葬式の墓地があれば安心して老後を過ごせるので早期に実現して欲しい。長年住み慣れた土地（石狩市）で合葬式墓地があれば安心である。
- ・納骨堂はあるが、石狩中心地に合葬式のお墓があると良いと思います。
- ・市内に納骨堂又は合葬式のお墓があると良いと思います。
- ・子供たちに経済的負担をかけたくない。お寺はお金がかかりすぎです。これからは合葬墓があると良いと思います。
- ・親戚に迷惑をかけたくないで合葬式を検討していただきたいと思います。
- ・早く合葬式のお墓を設置して欲しい。今後、希望は増えていくと思う。
- ・お墓を守ってくれる子供がいない方は将来的に合葬式のお墓は必要と思います。
- ・札幌の合葬墓は遠いので考えていましたので、石狩市営の合葬墓地大賛成です。
- ・もう親の墓を見るという時代ではないと思います。親の墓や仏壇を見ていますが、歳をとるに従い墓参りも大変です。子供達にはこの苦勞をさせたくないと思っております。合同で埋葬出来る所があったら是非利用したい。早くお願いします。
- ・少子化の時代、合葬式のお墓がいいと思う。日常的に意識出来ないで、情報に触れたり、積立制があるといいと思いました。
- ・お墓を2ヶ所（石狩・札幌）守っておりますが、子供は北海道に帰ってこないし、海外に出る場合もあります。何百万もかけて親は建てましたが、私は共同の方が金銭的にも希望します。
- ・従来型の墓地は必要ない（民業圧迫、入れる人と入れない人の不公平）が、合葬式の墓を市役所が造る意味はあると思います。
- ・個人が墓地を持つと何年か先は周りが全部墓地になってしまう。合葬式のお墓の利用を積極的に進めて欲しい。
- ・高齢のため合葬式お墓を一日も早く実現して頂きたい。希望します。
- ・子供がいないので、いずれ親の代からの墓に入る予定にしていますが、遠い（道内）ので近くの合葬式の墓があればと思っております。
- ・簡単にご先祖様を守っていただけるなら、そのニーズは多いと考えます。
- ・合葬式のお墓は時代の流れだと思います。

- ・全天候型の合葬式の市営墓地があるといいですね。

ほか、全63件

(合葬式のお墓は必要ない)

- ・公営の合葬墓は必要ないと思います。宗教法人または民間の法人に任せるべき。現在ある公営墓地の清掃管理に務めるよう要望します。
- ・合葬式の管理維持費は市の税金なら納得いきません。合葬式利用の方はマナーが悪く、自分が所有している墓が汚されそうで心配です。

全2件

(墓地の承継について)

- ・お墓を立てましたが、息子たち二人も道外に住んでいるので心配である。
- ・承継者がいない。
- ・無縁仏になる。
- ・両親の墓が遠方であり、年に一度しか行かれない。自分達は近くでと考えているが、子供達は道外にいて負担をかけさせたくない。いい方法があればと考えています。
- ・お墓はあるのですが、継ぐ人がいないのでどうしたら良いのか心配です。
- ・子供が市外に住んでいるので、墓の管理について検討中です。少子化の問題もあり、墓の維持管理が難しくなっていく事を危惧しています。

ほか、全8件

(散骨について)

- ・散骨、樹木葬が出来るところが必要ではないかと思う。
- ・独り者なので海に散骨出来ると良いと思っています。
- ・海の散骨は小樽まで行かなければならない。石狩湾でもできる様にしてもらいたい。
- ・夫は先祖の墓に眠らせてもらっていますが、遠方で年を重ねると大変なので私が死んだら散骨か樹木葬でよいと子供達に言っていますので、石狩市でも散骨、樹木葬を認可できたらよいと思います。
- ・市営墓地に費用のかからない樹木葬や散骨ができればいいと思います。
- ・海または山への散骨を望む。

ほか、全10件

(樹木葬について)

- ・樹木葬等があればと思います。
- ・テレビで樹木葬のことが放送されておりましたが、石狩でそうしたものがあれば聞きたい。
- ・娘が二人、お墓については悩みどころです。樹木葬など気になります。
- ・交通の不便な場所に合葬墓を設置した場合、利用するのを考えるときもあると思います。樹木葬などは考えていないのでしょうか。そちらの方に入りたいと思います。
- ・石狩市で樹木葬があるなら利用したい。
- ・住民意識の多様化から合葬式のほか樹木葬も検討しては。
- ・樹林葬などについても考えて下さい。
- ・墓地を持ってしまったが、将来子供達に負担をかけたくないので、樹木葬などで後々形に残らないのが良かったと思います。

(納骨堂が必要)

- ・冬期間でもお参り出来る施設(納骨堂)が良いと思います。
- ・石狩市に納骨堂が出来れば良いと思います。それが永代供養で管理されれば、なお良いことです。
- ・従来型のお墓は管理費用の面で負担が大きい。市営納骨堂だと安価で多くの市民が利用しやすいと思います。強く希望します。
- ・墓地が有っても冬期間はいけない、お参り出来ない等の現実があり、最近多い納骨堂の方がより便利で良いと思います。将来、子や子孫に負担をかけたくないということからも、これ以上墓地を増やす必要はないと考えます。

全4件

(墓地全般)

- ・墓は必要ない。ネパールでは焼却後、川に流すか鳥葬である。
- ・少子化、核家族の世の中で墓は必要でしょうか。心の持ち方であり、私は毎日仏壇に手を合わせることで良いのではないかと考え、散骨も考えております。
- ・将来、墓に手を合わせる人が孫の代でいなくなると思います。墓地造成で環境の変化、自然破壊になるかも。
- ・ドイツの墓地は明るく公園のような感じでした。
- ・合葬式の費用は？
- ・子供は札幌にいますが、墓を守るのは当然とっております。孫も同じで心配しません。
- ・茨戸霊園の墓地が年々増えておりますが、北海道民は先祖代々継ぐという風習はないのであるうか。
- ・市が管理する墓地が必要です。
- ・今までの墓地でお願いします。
- ・何時でもお参りができるように、あまり遠い所でない事をお願いします。
- ・金銭的に手軽に墓地を求められるようにして欲しい。
- ・子供とまだ相談していないので、今後話し合いたい。
- ・両親もまだ健在であり、自分達の墓のことなど考えたこともありませんでした。
- ・墓の確保、供養代もかかる。届出をして家の墓に置くなどの管理もあっては。
- ・安心できる墓地が少ないことが色々な形態を持つようになっているのではないか。北広島市の市営墓地は羨ましい。真剣に取り組んでもらいたい。墓地が分散し、旧市街で取得できないなんて信じられません(民営の墓地を持っているが不安です)。
- ・独身なので墓について考えていません。
- ・交通の利便性、積雪時の墓参りが可能な場所か。
- ・子供達に負担がかからないように検討しています。
- ・供養物のマナーの無さでカラス問題等も考えて欲しいが、税金を使つての墓地増設は慎重に行つて欲しい。
- ・無駄のないようお願いします。
- ・今後建設する計画がありましたら屋内型をご検討ください。

- ・気持ちの問題が一番に来ると思う。費用も高いので、今後は誰でも作れるようにしていくべきだと思う。
- ・一人暮らしのため検討している。
- ・墓地は高台が望ましい。
- ・近頃、多くの方が墓終いを行っています。墓の前で手を合わせるの形ばかり、虚しく感じますがどんなものでしょう。
- ・永代供養していただけるといいです。公営の供養塔でもあればいいですね。
- ・合葬にしたいが、お彼岸とお盆には僧侶がお経を上げてくれる永代供養のお墓ならいいと思います。
- ・子供が市域外に独立すると市営墓地への加入は困難かも。
- ・少子化のため、墓地の必要性をもっと考えたい。
- ・外国籍の為まだわからない。
- ・釧路には父の墓がありますが、はたして子供が入れるのか疑問に思います。
- ・主人が亡くなり私が守っていきたいと思いますが、後はわかりません。
- ・主人は親の墓へ、私は子供もいないので考えることも出来ずいます。どうすればいいのでしょうか不安です。
- ・ペットを入れる墓を増やして欲しい。
- ・釧路のお墓を石狩に改葬したい。
- ・民間の墓所使用許可証の名義変更料は高い。
- ・墓地も多様なあり方を選択する方式があればよいと思う。
- ・石狩市に住んでいたという証として孫たちがお参りできるようなものを計画して欲しいと思います。
- ・韓国の墓所のような団地式で自由に参拝できたり、明るい感じが良いと思います。また、公園のように誰でも行きやすく、軽食等も出来る場所等もあればと思います。
- ・近くで時々行けるお墓がいいです。小さくても従来型がよく、親族が途絶えたら合葬式に移っても良いと思います。
- ・市民の様々な意見を取り入れて時代にあった形で検討していただければと思っています。
- ・子供に負担、他人との合葬に抵抗を感じる。
- ・寺院に納骨堂を所有している。
- ・石狩市に移住した時、住宅近くのお寺の納骨堂を求めたので心配ありません。
- ・年齢的にまだ考えていない。

ほか、全53件

(2) 石狩市営の墓地に関する意見等

(市営墓地の取得について)

- ・石狩市営墓地を造成し安価で提供して欲しい。年寄りが公共交通機関を利用して行ける場所を希望したい。また、市内25ヶ所の場所を公開すべし。
- ・生前に墓地を取得出来る様にして欲しい。
- ・お墓が少ない、生きているうちに市営墓地を取得したい。

- ・以前に市営墓地を応募したが当選できず、法人墓地を購入したが、市の墓地であれば無くなる心配もなく安心できたはずです。合葬式も必要と思うが市営墓地がもっとあると良いと思います。
- ・お墓の取得も税金のように低所得者や低年金者が持てるような仕組みを作ってほしい。
- ・各地元の墓地がいっぱいなので八幡墓地等に花川地区等の地元でない人が墓地を立てることとなっている。市営の大規模な墓地が必要である。
- ・抽選当選で後に墓地を自分で選ぶことが出来ればと思います。
- ・25年前、市の墓地を希望したが駄目でした。その時もう少し相談し考えてもらえればよかったです。高い代金を支払い遠いところに建て困っています。市もその人の立場を考えて欲しいと思います。
- ・石狩市に墓地の空きが無いとのことで別物件を探しました。もっと早く取り組んで欲しかった。
- ・住民が多い花川に墓地が無いので、市営墓地を利用することはありません。
- ・子供が石狩市に住んでいて、親が別の地域で生前にお墓の相談をしたくても、現住所以外で申し込みができないのは不便だと思う。
- ・平成2年、石狩に墓地はないと聞き残念でした。

全12件

(市営墓地の管理・整備について)

- ・墓地の前の通路を舗装して欲しい。
- ・昨年に供えた花が落ちていたが、片付けてくれないのか(八幡墓地)。
- ・墓地までの道路整備。
- ・札幌の里塚墓地と比較して申し訳ないが、区画も含めてもっと綺麗にして欲しい。
- ・早春の除雪など早く行ってお墓参りができるよう配慮願います。
- ・墓地の排水設備を設置してもらいたい(親船墓地)。また、枝の剪定は考えていないのですか。落ち葉で一杯になる。
- ・管理状態が悪いところが多い。設備も(水道、トイレ)。
- ・八幡墓地にトイレを。
- ・民間会社に維持管理させているようだが、春の彼岸時の除雪はメインの参道だけ、夏の草刈りなどは雑極まりない仕事内容である。
- ・近郊の市営墓地と比べて整備されていない。トイレの常設、道路整備(障害者や老人などに配慮)が必要である。また、雨宿りが出来る施設(公園の東屋レベル)を設置すべきと思う。
- ・花畔墓地の木の剪定をして欲しい。
- ・墓地の移設を考えているが、桜の木を植えるなど環境等が良くなって欲しい。
- ・傾いている墓を見ますが、誰も管理していないようで危ないと思いますが、市で何とかならないのですか。
- ・市営墓地が25ヶ所も有ることを知ったが、不経済なので集約すべき。

ほか、全20件

(その他)

- ・市営墓地が有るのか無いのかさわかりません。広報等で知りたい。
- ・石狩市に25ヶ所の墓地があることすら知りませんでした。

- ・市営墓地の現状について知らないのではなんともいえません。
- ・市営墓地の金銭的なことがわかりません。
- ・市内に25ヶ所あるということですが、どの場所に有るのか分かりません。
- ・市営墓地は何処にあるのでしょうか。希望すれば誰でも利用できるのか知りたい。樹木葬はないのでしょうか。石狩市は海拔が低く、お墓が水害に遭わないか心配です。

ほか、全8件

(3) その他

- ・高齢者に墓地に関するアンケートはデリケートがなさすぎます。今後止めて下さい。気分が悪いです。
- ・つまらないアンケートを募るのは大いに疑問が残るところ。大変に時間の無駄。
- ・旧来の親族形態が小型化（少子化、結婚しない人、子供を作らない…）する中で集約型の墓地希望者は増大する事を予測してのアンケート調査、大変望ましい事だと考えます。
- ・お墓の件も大変大事なことです。手術やリハビリの出来る病院を造れないのでしょうか。場違いな話で申し訳ありません。
- ・お墓の問題もありますが、医療、除雪、空き家などの生活環境が不安で、自分でどうすれば良いのか迷っており、墓地を子供に残してよいのか悩んでいます。
- ・墓の存続よりここで暮らしていけるか心配です。

全6件

4 墓地需要予測

4-1 大阪府方式による推計

(1) 推計方式

1965 年高橋理喜男氏を中心とするグループが大阪府からの委託調査の中で提案した方式。居住地の定住性の傾向や墓地の購入意思を考慮した上で、分家した世帯が1世帯につき1墓所持つことを仮定して算定する方法。設定されている係数は統計上の検証によりその妥当性が認められており、簡便で普遍性も認められることから、手法として広く用いられている。

$$\text{算式：年間墓地需要数} = \text{定着志向係数} \times \text{死亡者数} \times (\text{墓地需要率} + \text{傍系世帯率}) \div 2$$

(2) 算式に必要なデータ

① 死亡者数

- ・総人口：「日本の地域別将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所、平成 25 年 3 月推計）における石狩市の将来人口推計
- ・死亡率：「日本の将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所、平成 24 年 1 月推計）における死亡率
- ・死亡者数 = 総人口 × 死亡率 / 1000

② 定着志向係数 = 問 1 (6) で「住み続けたい」の回答数 (552) / 全回答者数 (790)

③ 墓地需要率 = 問 2 で「希望する」の回答数 (144) / 全回答者数 (790)

④ 傍系世帯率 = 問 1 (5) で「ないと思う」の回答数 (243) / 全回答者数 (790)

(3) 推計結果

	総人口	死亡率 (対1000人)	死亡者数	定着志向 係数	墓地 需要率	傍系 世帯率	墓地 需要数
H27 (2015)	58,373	10.4	608	0.699	0.182	0.308	105
H28 (2016)	58,373	10.6	619	0.699	0.182	0.308	107
H29 (2017)	58,373	10.8	631	0.699	0.182	0.308	109
H30 (2018)	58,373	11.1	648	0.699	0.182	0.308	111
H31 (2019)	58,373	11.3	660	0.699	0.182	0.308	114
H32 (2020)	56,868	11.6	660	0.699	0.182	0.308	114
H33 (2021)	56,868	11.8	672	0.699	0.182	0.308	116
H34 (2022)	56,868	12.0	683	0.699	0.182	0.308	117
H35 (2023)	56,868	12.3	700	0.699	0.182	0.308	120
H36 (2024)	56,868	12.5	711	0.699	0.182	0.308	122
H37 (2025)	54,827	12.7	697	0.699	0.182	0.308	120
H38 (2026)	54,827	13.0	713	0.699	0.182	0.308	123
H39 (2027)	54,827	13.2	724	0.699	0.182	0.308	124
H40 (2028)	54,827	13.4	735	0.699	0.182	0.308	126
H41 (2029)	54,827	13.6	746	0.699	0.182	0.308	128
H42 (2030)	52,354	13.8	723	0.699	0.182	0.308	124
H43 (2031)	52,354	14.0	733	0.699	0.182	0.308	126
H44 (2032)	52,354	14.2	744	0.699	0.182	0.308	128
H45 (2033)	52,354	14.4	754	0.699	0.182	0.308	130
H46 (2034)	52,354	14.6	765	0.699	0.182	0.308	132
H47 (2035)	49,575	14.8	734	0.699	0.182	0.308	126
H48 (2036)	49,575	14.9	739	0.699	0.182	0.308	127
H49 (2037)	49,575	15.1	749	0.699	0.182	0.308	129
H50 (2038)	49,575	15.3	759	0.699	0.182	0.308	130
H51 (2039)	49,575	15.4	764	0.699	0.182	0.308	131

4-2 簡易予測式による推計

(1) 推計方式

沖縄県墓地公園整備基本指針（平成12年3月）で示された、沖縄大学 吉川博也教授による推計方式。

$$\left. \begin{array}{l} \text{算式：} a \text{ 総人口} \times 13 \div 10,000 = \text{年間墓地需要数} \\ b \text{ 総世帯数} \times 4 \div 1,000 = \text{年間墓地需要数} \\ c \text{ 死亡者数} \times 0.2 = \text{年間墓地需要数} \end{array} \right\} \begin{array}{l} a \sim c \text{ の平均値} \\ \text{を墓地需要数とする} \end{array}$$

(2) 算式に必要なデータ

- ① 総人口：「日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所、平成25年3月推計）における石狩市の将来人口推計
- ② 総世帯数：「日本の世帯数の将来推計」（国立社会保障・人口問題研究所、平成26年4月推計）における北海道の世帯主率と総人口から算出
- ③ 死亡者数：総人口および死亡率から算出

(3) 推計結果

	総人口	世帯数	死亡者数	a (総人口×13/10000)	b (世帯数×4/1000)	c (死亡者数×0.2)	墓地需要数
H27 (2015)	58,373	27,667	608	76	111	122	103
H28 (2016)	58,373	27,667	619	76	111	124	104
H29 (2017)	58,373	27,667	631	76	111	127	105
H30 (2018)	58,373	27,667	648	76	111	130	106
H31 (2019)	58,373	27,667	660	76	111	132	107
H32 (2020)	56,868	27,396	660	74	110	132	106
H33 (2021)	56,868	27,396	672	74	110	135	107
H34 (2022)	56,868	27,396	683	74	110	137	107
H35 (2023)	56,868	27,396	700	74	110	140	108
H36 (2024)	56,868	27,396	711	74	110	143	109
H37 (2025)	54,827	26,803	697	72	108	140	107
H38 (2026)	54,827	26,803	713	72	108	143	108
H39 (2027)	54,827	26,803	724	72	108	145	109
H40 (2028)	54,827	26,803	735	72	108	147	109
H41 (2029)	54,827	26,803	746	72	108	150	110
H42 (2030)	52,354	25,768	723	69	104	145	106
H43 (2031)	52,354	25,768	733	69	104	147	107
H44 (2032)	52,354	25,768	744	69	104	149	108
H45 (2033)	52,354	25,768	754	69	104	151	108
H46 (2034)	52,354	25,768	765	69	104	153	109
H47 (2035)	49,575	24,199	734	65	97	147	103
H48 (2036)	49,575	24,199	739	65	97	148	104
H49 (2037)	49,575	24,199	749	65	97	150	104
H50 (2038)	49,575	24,199	759	65	97	152	105
H51 (2039)	49,575	24,199	764	65	97	153	105

4-3 地域別・形態別の墓地需要数

大阪府方式により推計した墓地需要数を用い、アンケートの回答（率）などから、地域別や形態別の墓地需要数を推計した。

■大阪府方式による墓地需要数

H27～51年（25カ年）	累計	3,039 区画
	年平均	122 区画

(1) 石狩市内墓地の需要数

取得希望地域について、「石狩市内がよい」との回答率は75.0%であり、これに年平均の墓地需要数122区画を乗ずると、91区画となる。

「わからない、または、まだ考えていない」との回答した中にも一定数、石狩市内を希望するものがあると考えられるが、仮に半数が石狩市内を希望した場合、墓地需要数は104区画となる。

問3(2) 墓地をどの地域に取得したいとお考えですか。			H27～51(25カ年)	
回答	回答数	構成比	累計	年平均
石狩市内がよい	108	75.0%	2,279	91
石狩市以外がよい	3	2.1%	64	3
わからない、または、まだ考えていない	31	21.5%	653	26
無回答	2	1.4%	43	2
計(n)	144	100.0%	3,039	122

(2) 形態別の需要数

希望する墓地形態のアンケート集計からは、年平均墓地需要数122区画のうち、「従来型のお墓」の需要は67区画、「納骨堂」は24区画、「合葬式のお墓」は19区画となった。

問3(3) どのような形態を希望しますか。			H27～51(25カ年)	
回答	回答数	構成比	累計	年平均
従来型のお墓	79	54.9%	1,668	67
納骨堂	28	19.4%	590	24
合葬式のお墓	23	16.0%	486	19
その他	1	0.7%	21	1
無回答	13	9.0%	274	11
計(n)	144	100.0%	3,039	122

(3) 市営墓地の需要

現在、市営では従来型のお墓しか提供していないことから、基本的には「市内で従来型のお墓を希望する」市民のうちの一定数が、市営墓地を求めると仮定できる。

(1)及び(2)の結果から、市内における従来型のお墓の需要数は約50区画(91区画×54.9%)となる。これが市営墓地と民営(宗教法人等)墓地の大きく二つに分類されるとして、具体的な算定はしにくいものの、近年の市営墓地の応募状況からは、現時点で25区画程度(墓地需要全

体 122 区画の約 20%) が市営墓地の需要数であると類推される。中長期的には、大阪府方式では総体の墓地需要数が緩やかに増加することから、その増加率を当てると 30 区画前後の需要数となるが、墓地需要の多様化や景気の動向による影響も大きいと考えられる。

■市営墓地の応募状況

年度	募集数	応募数
平成 25 年度	7 (花畔 3、樽川 1、厚田 3)	17 (花畔 14、樽川 2、厚田 1)
平成 26 年度	31 (花畔 19、親船 13、厚田 3)	26 (花畔 21、親船 4、厚田 1)
平成 27 年度	25 (花畔 20、親船 5、厚田 3)	24 (花畔 22、親船 2、厚田 0)

なお、すでに取得されている墓地の種類は、将来の需要数の根拠となるものではないが、利用者の意向を一定程度反映していると考えられる。

アンケート問 4 (2)において、墓地取得済みの 400 名に墓地の種類(i)及び地域(ii)を訊いたところ、「石狩市営などの公営墓地」かつ「石狩市内」と回答したのは 85 名であったことから、取得済み墓地に占める石狩市営墓地の割合は約 21% (85/400) と推定される。これは、市営墓地の需要予測 (比率) とも概ね一致するところとなっている。

(4) 市が設置した合葬式のお墓の需要

市が合葬式のお墓を設置した場合の利用について、アンケート集計 (墓地の取得希望者に限った集計) からは、年平均需要数は 26 区画と算定された。

墓地需要の多様化や、少子高齢化等により承継の課題を抱える家族の増加が見込まれる中、合葬式墓地への関心は高まると予想され、今後、市が合葬式墓地を整備することとなった場合、「利用したい」、「検討したい」の 25 ヶ年の累計 1,306 区画が施設規模のひとつの目安になると考えられる。

問5(2) 今後、市が合葬式のお墓を設置した場合、利用したいですか。(墓地の取得希望者の集計)			H27～51(25カ年)	
回答	回答数	構成比	累計	年平均
利用したい	31	21.5%	653	26
検討したい	31	21.5%	653	26
利用しない	41	28.5%	866	35
わからない	32	22.2%	675	27
無回答	9	6.3%	192	8
計(n)	144	100.0%	3,039	122

5 市営墓地の供給について -市営墓地の需要（従来型墓地年間 30 区画）への対応-

市営墓地（従来型墓地）は、今後、年間 30 区画前後の需要が見込まれる。

平成 25 年度に花畔墓地および親船墓地で試掘調査を行ったことから、平成 29 年度までは合わせて 25 区画程度の募集を行うことができるが、さらなる区画の整備を既存の墓地用地の中で行うことはできない状況にある。

このため、次の点について併せて検討しながら、市営墓地の供給やその時期を見通す必要がある。

(1) 墓地需要の多様化への対応

本アンケートで、合葬墓の必要性について訊いた（お墓を必要としない人も含め全員に対する質問）結果では、「必要だと思う」の回答は 55.3%であり、多くの人は合葬墓の必要性を感じている結果となった。また、自由記載（意見総数 196 件）では、合葬墓を切実に希望するものを含め、63 件の肯定的意見が出されたほか、散骨や樹木葬に関する意見・要望が各 10 件出された。

また、将来を含めたお墓の心配ごと（お墓を持っている人に対する質問）では、「墓の管理について子孫に迷惑をかけるのではないか」（30.3%）が最も多く、少子高齢化による承継者不在やお墓に対する意識の変化などから、代々受け継いでいく従来型ではない、多様な墓地形態への需要の高まりが予想される。

合葬墓については、直接、従来型の墓地供給に資するものではないが、墓地需要の多様化を踏まえた、市民に対する説明・周知等により、従来型墓地の不足解消策の一旦を担うと考えられ、また近隣市の多く（札幌市、江別市、北広島市、千歳市、恵庭市、小樽市）でも整備済であることから、整備の要否などについて早急な検討が必要である。

(2) 既存墓地の有効活用

市営墓地の募集は、通常、返還された墓地区画が、ある程度の数になった段階で行っているが、各年度の返還件数は 5 件程度であり、今後の墓地需要には応えられない状況にある。しかしながら、(1)に既述のとおり、墓地需要の多様化が進んでいることから、合葬墓に関する説明周知や、適時に墓地使用者に対して合葬墓への改葬を促すことなどにより、既存墓地用地の有効利用が図られる。

また、平成 27 年 12 月定例会で無縁墓地の対応について質問が出されたとおり、少子高齢化や核家族化など社会構造の変化により、無縁墓地の増加が懸念されているが、これらも合葬墓等への改葬により用地の有効利用を図ることができる。改葬の手続きには、縁故者の戸籍調査、官報掲載や一年間の公告などの多くの時間を要するほか改葬先のあることが前提となるが、合葬墓等の整備にあわせ、用地の有効利用と環境衛生保全の観点から、無縁墓地の調査、改葬を検討する必要がある。

(3) 民営墓地の活用

八幡墓地の未造成用地（3,682 m²・約 260 区画分）の利活用について、平成 17 年に公募し、平成 20 年に宗教法人と売買契約を行っている。これは、市の墓地用地では今後の墓地需要すべてに対応しきれないこと、新規造成した場合の一般財源への負担、市営墓地の応募に係る制約など

を勘案し、民間による墓地造成への方向転換を図ったものであった。これらの経緯も踏まえ、民営墓地の供給状況や市民ニーズを把握しつつ、市営墓地が担うべき役割を検討する必要がある。

(参考)

平成17年6月定例会一般質問

◎質問者（小林瓊子）

次は、八幡墓地についてです。

市は、平成10年から12年にかけて、順次、八幡墓地を造成してきましたが、平成15年にはもう新規貸し出し区画がなくなったと聞いています。そこで、新しい造成計画を立て、内部調整する中で、行政が墓地を市民に提供していくことについて、民間活力での考えもあるのではないかなど、いろいろ意見が出たそうです。そんなとき、今回、市内の宗教団体が、市営八幡墓地に隣接した民有地墓地を開設したいという申し出があったことから、市の行政改革懇話会で審議してもらった結果、市の所有する未造成地を買っていただくのであればいい、1社ではなくプロポーザル方式で、最も適した宗教法人を選べる方法をとることにしたと、ことしの第1回定例会の予算特別委員会で御答弁がありました。

しかし、もう宗教法人は決まっているとか、造成は丸々建設で、墓は丸々というところだという声も聞こえ、秋には募集すると言われたという市民もいます。安い市営墓地をもっとふやしてほしいと願う市民から見ても、何かすっきりしない話なので、今回また取り上げることにしました。

そこで、まず初めに、今まで八幡墓地ではどのくらいの区画を造成し、幾らで貸し出しをし、運営上はどうか、お示しをいただきたいと思います。

市営でやることで何か支障があるのでしょうか。民間と市営では、価格にかなりの格差があります。市の持っている土地は1,110坪、区画にすれば約260基ぐらいと聞いています。なぜ民間にやらせようとするのか、その考え方をお伺いします。

民間が開設すれば、市民以外のだれでもが利用できることとなります。また、市民にとっては、市営でやるよりも二、三倍高いものを買わされることにもなります。市民の大事な財産を、民間のもうけのために売ってしまおうというのでしょうか。納得いかないのは私だけではないと思います。市民の皆さんが理解できる答弁を求めるものです。

◎生活環境部長（吉田保雄）

私からは、八幡墓地についてお答えいたします。

八幡墓地は、明治後期に開設され、区画割などもされておりました。しかし、墓地需要が高まったことなどから、平成10年に造成工事を行い、貸し出し墓所数は565区画となり、1区画6平米当たり、使用料3万円、管理料3万9000円で貸し出しを行い、平成15年8月には貸し出しを終了しております。

昨年、八幡墓地の残地を造成した場合のシミュレーションを行ったところ、使用料、管理料が数倍必要となり、さらに将来においては、管理経費への一般財源の持ち出しが必要となる結果となったところです。また、市営墓地を使用するには、市内に1年以上住んでいることや世帯主であること、親族に死亡者がいることの制限があり、生前に自分の墓を建てたいという要望には、市営墓地ではこたえることができませんでした。

これらのことから、本市が造成できる八幡墓地の限られた墓地用地を使っても、これからの市営墓地に対する市民需要のすべてに対応し切れないことから、民間の活力を導入し、八幡墓地未造成地とあわせて整備するものとしたものであり、民間による墓地造成に方向転換いたしましたところ です。

本年5月には、市内宗教法人33団体に対して墓地造成を募集し、2団体が応募し、そのうちの1団体に決定しております。今後、諸手続を終了後、速やかに工事に着手することになります。

私からは以上です。

◎再質問（小林瓊子）

それから、八幡墓地ですけれども、いろいろと市営でやっけては対応しきれない部分があるから民間活力というのはわかります。多様なニーズが出てきておりますので、民間にもいい部分がありますから、そういうこともわかりますけれども、私がここで言いたいのは、市が所有している最後の墓地の土地なのですね。そこを、隣の民間地を民間がやるからといって、渡りに船とばかりに自分たちの持っているところも一緒にやってくれというような、余りにも安易過ぎないかと。最後の市営墓地として、市有地として持っているのですから、最後まで市営でそこはやるべきでないかと私は思うのですけれども、市長はどのような考え方をなさっているか、そこでの見解を伺っておきたいと思います。

方向転換するというのも、今後においては必要かもしれませんが、最後の土地ですから、最後の土地は市がやるべきだというふうに思うわけですけれども、そこを伺っておきたいと思います。

◎市長（田岡克介）

八幡墓地の墓地整備についてであります。これにつきましては、墓地整備を本市で行うのではなく民間にゆだねるのは、墓地需要に対処する必要が急務となっておりますが、将来における管理費の一般財源への負担や隣接地を活用した民間による整備の提案、さらには行政改革懇話会の意見も伺って検討した結果のものでありますので、民間にゆだねることが現時点で最も最善であるというふうに考えた結果であります。

(4) 墓地用地の新規整備

「墓地経営主体は、市町村等の地方公共団体が原則であり、これによりがたい場合であっても宗教法人、公益法人等に限る」、「永続性の面では地方公共団体の方がより適格性が高いと考えられる」といった厚生省生活衛生局長通知（平成12年12月6日生衛発第1764号）の趣旨も踏まえ、墓地需要に応えるべく、最終的には墓地用地の新規整備まで含めた検討が必要である。

ただし、墓地用地の新規整備は、抜本的な解決策になりえるものの、用地や財源の確保、地域環境・衛生の保全の観点（設置基準）などから、実現に多くの費用と時間を要する。このため、上記の(1)から(3)を併せて検討し、その結果を検証する中で新規整備の要否を判断し、計画的に実施していく必要がある。

墓地に関する市民アンケート調査

- 次の設問について、当てはまる番号を○印で囲んでください。
- 回答がお済になりましたら、同封の返信用封筒に入れて11月20日（金）までに投函してください。送料はかかりません。

問1 あなたご自身のことについておたずねします。

(1) 性別	(2) 年齢	(3) 世帯構成	(4) 現在のご住所
1 男性	1 30歳代	1 単身	1 厚田区
2 女性	2 40歳代	2 夫婦のみ	2 浜益区
	3 50歳代	3 親と子(2世代)	3 上記以外
	4 60歳代	4 親と子と孫(3世代)	(旧石狩市域)
	5 70歳以上	5 その他	

(5) 先祖のお墓を守る立場に	(6) 今後の市内居住について
1 あると思う	1 住み続けたい
2 ないと思う	2 市外へ転出する予定がある
3 わからない	3 将来的には市外へ移りたい
	4 特に考えたことはない

問2 あなたは、墓地の取得を希望していますか。

- 1 希望している → 問3へお進みください
- 2 希望していない → 問4へお進みください

問3 問2で、墓地の取得を「希望している」とお答えの方におたずねします。

(1) 墓地の取得を希望している理由は次のどれですか。(主なものを1つ)

- 1 現在、遺骨があるので墓地がほしい
- 2 現在、遺骨はないが、将来のために取得したい
- 3 現在所有しているお墓からの改葬(※)を希望するため
- 4 その他 ()

※ 改葬：お骨を、市内または他市町村の他の墓地等に移すこと

(2) あなたは墓地をどの地域に取得したいとお考えですか。(主なものを1つ)

- 1 石狩市内がよい
- 2 石狩市以外がよい
- 3 わからない、または、まだ考えていない

(裏面(2ページ目)へお進みください)

(3) どのような形態を希望しますか。(主なものを1つ)

1 従来型のお墓	2 納骨堂	3 合葬式のお墓	4 その他 ()
----------	-------	----------	-----------

※従来型のお墓・・・ 伝統的なお墓で、個々の区画に石碑を建ててお墓とするもの。

※納骨堂・・・ 遺骨を安置しておく屋内の施設

※合葬式のお墓・・・ 大型の石碑などの下に空間を作って、たくさんのお骨を一か所に納めるようにした施設

(4) 取得する際に特に重視する点は何ですか。(主なもの2つまで)

1 墓地の価格・使用料などの費用面	2 墓地の雰囲気や周辺の環境
3 お墓・納骨堂の広さや大きさ	4 交通の利便性や自宅からの距離
5 墓地の設置者に対する信頼や安心感	6 宗教的理由(宗旨宗派)
7 その他 ()	

(5) あなたは墓地をいつごろ取得したいと考えていますか。

1 2年以内	2 5年以内	3 10年以内	4 10年以上後
5 わからない			

→ 問5へお進みください。

問4 問2で、墓地の取得を「希望していない」とお答えの方におたずねします。

(1) 希望しない理由をお聞かせください。(主なものを1つ)

1 自分が取得した墓地があるため	} → (2)へお進みください。
2 自分の代以前からの墓地があるため	
3 取得に費用がかかるため	} → 問5へお進みください。
4 子供や子孫に負担をかけたくないため	

(2) 墓地をお持ちの方および利用できる墓地のある方におたずねします。

(i) あなたの墓地は次のどれですか。		
1 石狩市営などの公営墓地	2 宗教法人が運営する墓地	
3 その他 ()		
(ii) あなたの墓地はどの地域にありますか。		
1 石狩市内	2 北海道内(石狩市内を除く)	3 その他 ()
(iii) 将来も含め墓地の心配ごとは何ですか。(主なもの1つ)		
1 墓を管理する親族がいないため、無縁墓にならないか		
2 墓の管理について子孫に迷惑をかけるのではないか		
3 墓の維持管理費用が高い	4 墓の管理主体が破綻しないか	
5 特に心配することはない	6 その他 ()	

→ 問5へお進みください。

問5 合葬式のお墓についておたずねします。(近年は少子化などからお墓を継ぐ方がいらっしゃらない方もおり、また、費用が安く済むなどの理由から、多数の方のお骨を共同で納める合葬式のお墓に関するお問い合わせや要望が増えています。)

(1) あなたは、合葬式のお墓が必要だとお考えですか。(主なものを1つ)

1 必要だと思う	2 必要ないと思う	3 わからない
----------	-----------	---------

(2) 今後、市が合葬式のお墓を設置した場合、利用したいですか。(主なものを1つ)

1 利用したい → 設問(3)へ	2 検討したい → 設問(3)へ
3 利用しない → 設問(4)へ	4 わからない → 問6へ

(3) 設問(2)で「利用したい」または「検討したい」と回答した理由を教えてください。(主なものを2つまで)

1 墓を継ぐ人(承継者)がない	2 家族にお墓を維持する負担をかけたくない
3 金銭的負担が少ない	4 お墓の管理が容易
5 その他 ()	

(4) 設問(2)で「利用しない」と回答した理由を教えてください。(主なものを2つまで)

1 現在使用している墓地や納骨堂を、継続して使用するため
2 従来型のお墓や納骨堂の取得を希望するため
3 複数の方との共同埋葬に抵抗があるため
4 石狩市営以外(宗教法人等)の墓地や納骨堂を希望するため
5 その他 ()

問6 墓地のあり方に関するご意見や、石狩市営の墓地に関してのご感想、ご意見などがございましたらご記入ください。

--

アンケート調査へのご協力ありがとうございました。

お問い合わせ先： 石狩市環境市民部環境保全課 電話 72-3240